

## 二子玉川ライズ「LEED ND(まちづくり部門)」 において世界初のゴールド本認証を取得

二子玉川東第二地区市街地再開発組合  
東京急行電鉄株式会社  
東急不動産株式会社

二子玉川東第二地区市街地再開発組合は、東京急行電鉄(株)、東急不動産(株)、世田谷区と連携し、二子玉川東地区において、水と緑と光の豊かな周辺環境と調和したまちづくりを目指してきました。同地区の市街地再開発事業・二子玉川ライズでは、世界的な環境認証評価であるLEEDの取得に取り組み、2014年9月19日の「LEED ND(まちづくり部門)」(2009年版)ゴールド予備認証取得に続き、本年11月16日(月)に本認証としては世界初となるゴールド認証(Stage3)(※)を取得しました。

LEED(Leadership in Energy and Environmental Design)とは、米国グリーンビルディング協会が所管する環境性能評価指標のことであり、エネルギー効率にすぐれ、持続可能な建築物を普及することを目的としています。「LEED ND(まちづくり部門)」は全部で3つの評価指標があり各指標の合計値で評価されます。

二子玉川ライズは、多摩川や国分寺崖線に近接する自然豊かな環境に恵まれていることに加え、主に、以下の取り組みにより評価を受けました。

- ① 田園都市線、大井町線、各種バスとの良好な交通アクセス網を確保していること
- ② 安全で快適な歩行者空間(リボンストリート)を形成し、高密度でコンパクトな開発をしていること
- ③ 商業、オフィス、公共施設や多くの住戸パターンを持つ住宅を集積させ、さまざまな年代の人々が多様な目的で集う、複合機能都市を整備していること
- ④ 生物多様性を評価する「JHEP 認証」で最高ランクAAAを取得するなど生態系の保全に取り組んでいること
- ⑤ インフラ整備や建物において資源の保全やエネルギーの高効率化などの環境配慮に取り組んでいること
- ⑥ 二子玉川ライズ・タワーオフィスにおいて、2015年8月に「LEED NC(新築ビル部門)」において、国内4例目となるゴールド認証を取得していること



二子玉川ライズでは、今後も多くの方々が快適に過ごせる空間を提供し、近隣住民の方々と一緒に、地域の魅力向上に努めていきます。

「LEED ND(まちづくり部門)」(2009年版)の詳細は別紙の通りです。

※認証取得対象地内の全ての建物、インフラなどの竣工後に取得できる認証

以 上

## 【別紙】

### ■LEED 認証

LEED (Leadership in Energy and Environmental Design) とは、米国グリーンビルディング協会が所管する環境性能評価指標のことであり、エネルギー効率にすぐれ、持続可能な建築物を普及することを目的としています。現在、実質的な世界標準となっており、日本でも取得の動きが活発化しています。

LEED には、全部で9つの評価分野があり、その中で、「まちづくり部門」を示すものが NEIGHBORHOOD DEVELOPMENT (以下、ND) です。NDは2009年から、街区の都市計画・開発の環境配慮基準を評価する制度として運用がはじまり、以下3つの指標の合計値にて評価が受けられます。

#### ① 立地条件

評価項目例： 多様な生態系の保全と復元、公共交通機関の利用が可能な立地選択

#### ② コミュニティデザイン

評価項目例： 多様な用途とコミュニティデザイン、コンパクトで街歩きの楽しめる洗練された街区

#### ③ 環境配慮型建築

評価項目例： 建築物の省エネルギー化、人体や環境への影響配慮

### ■LEED ND 認証範囲

#### ●二子玉川ライズ・第2期事業

- ・ II -a 街区(二子玉川ライズ・ショッピングセンター・テラスマーケット、二子玉川ライズ・タワーオフィスほか)

#### ●二子玉川ライズ・第1期事業

- ・ I -a 街区(二子玉川ライズ・ドッグウッドプラザ)
- ・ I -b 街区(二子玉川ライズ・ショッピングセンター、二子玉川ライズ・オフィス、二子玉川ライズ・オークモール)
- ・ 鉄道街区(二子玉川ライズ・ショッピングセンター・ステーションマーケット)
- ・ II -b 街区(二子玉川ライズ・パースモール&レジデンス)
- ・ III 街区(二子玉川ライズ・タワー&レジデンス、二子玉川ライズ・プラザモール)

#### ●世田谷区立二子玉川公園

※上記公園は二子玉川ライズに属していませんが、世田谷区の賛同を得て、認証範囲に含めております。

### ■認証範囲図



以 上

(参考)

## 「東京急行電鉄環境報告書2015」について

東京急行電鉄株式会社(以下、東急電鉄)では、環境活動を広くステークホルダーに周知するため、毎年、環境報告書を発行しています。「東京急行電鉄環境報告書2015」では、二子玉川ライズにおける環境配慮の取り組みを社員の声なども交え詳しく紹介しているほか、トップメッセージとして最高経営者の環境に対する考え方や方針を明らかにしています。さらに、制度を大幅に拡充したグループの環境表彰制度や地球温暖化防止への取り組み、過去からの環境活動や受賞歴などを紹介しています。

環境負荷データについては、冊子では2014年度分を掲載しているほか、ウェブサイトでは過去5年分や部門ごとのデータを追加して掲載しています。東急線沿線の方々にも手にとってご覧いただくため、沿線自治体・図書館・学校などにも配布しています。

今後も、東急電鉄はグループを挙げて環境経営に取り組み、その内容について積極的に発信していきます。

### ○東京急行電鉄環境報告書2015の概要

公開媒体:冊子(A4版30ページ)および東急電鉄オフィシャルウェブサイト

公開時期:2015年9月末

対象期間:2014年度(2014年4月1日～2015年3月31日)

※一部に2013年度以前の情報や2015年度の情報を含む

公開範囲:東急電鉄の取り組みに関する情報のほか、一部東急グループ各社の情報を記載

掲載内容:

- ・トップメッセージ
- ・特集 二子玉川ライズ ～豊かな自然と調和する持続可能な街づくり～
- ・環境表彰制度「第7回東急グループ環境賞」
- ・環境マネジメント、環境保全への取り組み
- ・環境負荷データ、環境パフォーマンス、環境会計
- ・東急電鉄の環境活動のあゆみ
- ・第三者意見(当社環境活動に対する専門家による意見)など

以 上